

新年おめでとうございます。

本年も何とぞよろしく願い申し上げます。

子年らしく陽気に動き回ろうと思います。

## 天皇陛下ご即位記念 パネル展&映画上映

昨年は皇位継承に伴う御代替わりの儀式が恙なく斎行され、日本国民として感謝と喜びに堪えません。

この度、標記の展示会を開催する運びとなりました。是非ご来場下さいすようご案内申し上げます。

★会場：ギャラリー画夢舎

東温市南方1589 駐車場あり

(川内インター近く、川上小学校の南西筋向かい)

★内容：①両陛下のご即位に関するお写真並びに

皇太子時代のご来県時のお写真

②「第126代天皇陛下御即位をお祝いして」(30分)を常時上映

★期間：令和2年2月5日(水)～23日(祝日・日)(月・火曜日は休館日)

★時間：11時～16時

★入場：無料

\*北朝鮮による拉致被害者救出のための募金・署名コーナーを設けてございます。

主催：日本会議愛媛県本部東温支部

支部長・山内孝二

事務局 〒791-0213 東温市牛湫718 090-8971-7721

共催：隊友会東温支部

自衛隊家族会東温支部

健全な男女共同参画社会をめざす会

# おとなの教養 第8回親学講座 ご報告

講師 杉本哲也先生

平成31年4月9日(火) 川内公民館

新しい元号、『令和』が発表になりました。

この間、大阪で府知事と大阪市長の W 選挙がありました。高槻市というところで、立憲民主党の辻本清美さんが「命令の令を使っている。けしからん。安倍総理は命令が好きだから、命令の令が付いている元号を選んだ」と叫んでいました。

あの元号が記者会見で発表されたときに、テレビを見ておられる耳が聞こえない方のために手話通訳がつかまりました。『令和』は『命和』という手話になりました。なぜそうなったかと言いますと、『命』も『令』も同じ意味なんです。『命』は『令』に口がついただけです。『命』は口を使いますが、『令』は口を使いません。『命』は口を使って口頭で神様の啓示をすることですが、『令』は口を使わずにします。『命』は社会の役割を「口」を使ってします。文書でするのが『令』です。役割を与えるということは同じなのです。

『和』という感じの成り立ちをみましょう。ノ木偏は 五穀、稲に関わる意味です。そこに『口』があります。豊かに実って垂れた稲穂を挟んで、今年もいい稔りができましたねえと会話している様子を表すのです。それが『和』です。人々が和んでいる様子から意味を膨らまして調和をしている状態を表します。飢饉で稲が育たなかったら大変なことになりますからね。

今回の元号は万葉集からとられました。「人々に役割を与えて、人々が和むような社会を作りましょう」と理解しています。それに比べて、マスコミの発表している意味は薄っぺらいなという気がします。

『命』という漢字をみていきましょう。「命」を吹き込むという意味もあります。

岡山の小学校でこんなことがありました。クラス所有のボールがあり、休憩時間にはそれで遊び、教室に戻ります。ところが、女子の赤いボールも男子の青いボールも、毎回置き去りにされて、探しに行くと校庭の隅っこに放ったらかしになっているのです。教室に持って帰らない。日替わりの担当者を決めて担当者が責任を持ってボールを教室に持って帰ると決めても忘れてしまうありさまでした。あるとき、ある少女がボールに名前を付けることを提案しました。男の子はボールにぴよん吉、女の子はぴよん子と名前がつかまりました。その途端にボールをその子たちは忘れないで持って帰るようになったのです。

名前が付いて命が吹き込まれたらボールが子供たちの仲間になったのです。単なる道具であったボールが、ぴよん吉、ぴよん子になり、仲間になったらちゃんと連れて帰って貰えるようになったのです。

名前をつける、命名、とはこういうことをいうのです。愛着が湧いてきます。車でも名前を付けると大事にするようになります。名前をつけることで人間と同じ扱いをする。これが日本人の考え方です。

「命」という漢字は、古事記の中では神様の名前の最後に「～命（のみこと）」とついています。

日本人にとっては、全知全能の神がいるのではなく、いろんな神様がおられ、それぞれに特性があり、その特性に対して命（みこと）とお呼びします。神様に名前をつけるんですね。

『命』も『令』も、いきとし生けるものに役割を与えるという意味です。

名前をつけることを命名という。英語では「naming ネーミング」ですね。しかし、ネーミングに命を与えるという意味はないでしょう。

日本語はよく考えられていると思います。この日本語の素晴らしさを次世代の子供たちに伝えていかなければならないと思うのです。

令和は、万葉集にある「初春の令月（れいげつ）にして 気淑（よ）く風和（やわら）ぎ 梅は鏡前（きょうぜん）の粉（こ）を披（ひら）き 蘭は珮後（はいご）の香（こう）を薫（かお）らす」との文言から引用されています。

令月の『令』の使われ方は、ご令息、ご令嬢と使われるように、素晴らしいという意味です。『令和』は素晴らしい和らぎという意味です。

新しい元号のおかげで、万葉集が注目されるようになりましたが、万葉集はどんな歌集なのか、研究者は別としてあまり知られていません。

私は大阪の八尾市に住んでいますが、隣が奈良県です。奈良県にいくと、山の辺の道というのがあります。天理教本部がある桜井というところから上がって行きますが、柿本人麻呂の歌の碑があります。私は今日松山空港がバスで JR 松山駅に着きましたが、降りるとすぐ正岡子規の句碑が目に入ります。そんな感じで山の上の道には柿本人麻呂の歌碑がここかしこにあります。

万葉集の素晴らしさというのは、収録されている5000首ほどの歌には、天皇の歌もあれば貴族の歌もある、「詠み人知らず」という一般民の歌もたくさんあります。この意味、分かりますか？ 奈良時代、1300年くらい前の世界のスタンダードではごく一部の貴族しか文字が読めません。識字率は極めて低かった時代です。万葉集に詠み人知らずの歌がいっぱいあるということは、身分の低い人たちが文字を習って短歌を作っていたということです。しかもそれが国家が編纂する万葉集にたくさん編纂されているということはすごいことです。日本に身分制度がありつつも身分の低い人たちも国家として大事にしていたということです。

当時、ギリシャでは奴隷制度が横行していた時代です。ドイツにもキリスト教は入

っていません。キリスト教はほんの一部にしか普及しておらず、ユダヤ教が横行していました。ヨーロッパでは占領したりされたり戦争を繰り返していました。負けた国の人々は身分低くなり奴隷のように扱われていました。ところが日本では身分の低い人たちも文字を知っていてそういう人たちの作った歌をたくさん掲載している。万葉集は当時の民度の高さを示す証拠ともいうべきものです。

これまで中国の古典から元号が作れていたのですが、この度の改元は万葉集からとられた。ここには深い意味があります。これを機会に万葉集について調べてみてはいかがでしょう。そうするとこんなことも万葉集にあったのか、ということが出てきます。

今日は「おとなの教養講座」になっていますので、もう少し漢字を見てみましょう。

『稽古』『練習』この違い、分かりますか。

練習は繰り返す。習って練っていく。宮本武蔵が『五輪の書』の中で、錬にして鍛、鍛にして錬、1万回繰り返すと鍛錬になる、と言っています。だから練習というのは1万回繰り返すということです。基本的な動作を何回も何回も繰り返す、これが練習です。稽古というのは、日本の武道とか茶道、華道のように「道」の付くものに使われます。先人のやってきたことに学ぶという意味です。書経『堯典』の中にあることばで、古（いにしえ）を稽（かんがえ）る、とあります。堯というのは中国神話に登場する優れた君主で、彼の言葉は『堯典』になっているのです。

『禮』＝『礼』 旧漢字と新漢字。同じ「れい」という字ですね。

『示すへん』は『神』に関係があります。神様の住む場所が『社』ですね。『禮』も『礼』も『示すへん』です。『禮』は『示すへん』に『豊』です。『五穀豊穰』、豊かな実りを神様に感謝して捧げますというときに『禮』を使います。今の『礼』は、この『禮』と何が違いますか。

『礼』と『糺』はつくりが同じですね。『糺す』には、問いつめる、質問をする 真実を追求するという意味があります。一方、『正す』は本来あるべき姿、真理に戻すという意味です。いずれも元あるべき姿、場所に戻すという意味です。

「礼」の右側は「ただす」と同じ意味なんです。「礼」は、本来頭を下げるのではなく、人間のあるべき姿を示すという意味です。日本人としてのあるべき姿は何か、礼儀であるから頭を下げている。そもそも礼というのは相手に不快感を与えないように人間のあるべき姿を示すことなのです。

ついでに、「正」について、「一に止まる」で正であります。「一」というのがあるべき姿、真理です。その真理に止まりなさいというのが『正』です。

漢字は勉強すればするほど奥が深いです。漢字を作ったのは中国人です。日本人はそれに訓読みを当てていくのですが、その訓読みがあたかも漢字の成り立ちにぴった

りしている。漢字を読み、訓読みを始めた日本人はすごいなと思います。私が考えたのでもなく、近代の学者が考えたのでもなく、当時の人がすごかったんですね。

昨年6月にオーストラリアに行き、ブリスデンの幼稚園で茶道を教えました。

「日本の茶道は礼に始まり礼に終わります。礼は頭を下げることですよ」ではうまくいきません。「両手で三角形を作りましょう。この三角を床におきます。そのとき一緒に頭を下げましょう」と教えます。そして「そのままの姿勢で1, 2, 3とカウントしてくださいね。それからゆっくり頭を上げます」と指導します。オーストラリア人の子供でもそこまで細かく教えるとできるのです。子供らが呼吸をそろえてちゃんと礼ができます。日本人も小さいころから礼を教えないとダメです。

その後、ゴールドコーストにあるウェラーズヒル小学校を訪問しました。公立の小学校ですが、日本語と英語のバイリンガルを養成するカリキュラムがあります。地元のオーストラリア人の子供が通ってきますが、1日の授業の半分を日本語でします。日本語の授業があるのではなく、社会も算数も理科も日本語で教えるのです。教えているのは商社に勤めておられた方とかスチュワーデスさんとかで現地に住みついた日本人です。教頭先生は日本から派遣された日本人です。1年生から1日の半分の授業は日本語で、残り半分は英語で教えられます。1日に4時間の授業があれば、日本語で2時間、英語で2時間です。5年生くらいになるとそこそこ日本語がしゃべれます。私が訪ねたときに、男の子に「職員室はどこにありますか」と聞きますと、「そこを右に曲がってまっすぐ行くとあります」とちゃんと日本語で返事が返ってきました。

公立の学校ですから、バイリンガルかモノリンガルかは選択制なのです。親が希望すれば、モノリンガルもOKです。バイリンガル、モノリンガルを問わず、子供たちの学力テストは一斉に英語で行われます。すると、バイリンガルの子供の方が高い成績が出るそうです。理科や算数などすべての科目にわたってそうなのです。それはバイリンガルだからいいのでしょうか。

逆に日本で同じことをしたらどうでしょう。日本の小学校で日英のバイリンガルの子と日本語だけのモノリンガルの子を教育します。そうして学力テストをすると得点は同じです。なぜそんなことが起こるのでしょうか。

これはバイリンガルがいいのではなくて、日本語がいいのです。複雑な言語、日本語がいいのです。たとえば、「曙」「暁」「東雲」「夙（つと）めて」ということば。これらを早い順番に並べることができますか。万葉集や古今和歌集などに出てくる早朝の時間帯を表す言葉です。どの順番で時間が推移していくのでしょうか。正解は、「暁」→「東雲」→「曙」→「夙めて」です。空が真っ暗な状態で、そろそろ夜が明けるかな、というのが「暁」です。太陽はまだ山から出ていないけれど空が明るくなってきましたねえ、が「東雲」です。「曙」は太陽が出る直前、太陽の姿は見えないけれども空はもう明るくなっています。「夙めて」というのはもう太陽が出ている状態です。英語で言えば、early morning でしょうが、日本語はいろんな単語で複雑に表現します。

それから、霞と霧はどう違うでしょう。視界の距離ですって？ いいえ、違いは季節なんです。霞は春に使います。霧は秋に使います。全く同じものなのに季節によって使い分けます。だから俳句の季語になります。全く同じものを違う言葉で使い分ける、これが日本人の感性です。俳句は季語を使って四季を感じるではないですか。自然の変化に気付くようになります。日本語は言語そのものが非常に複雑にできています。人間の感性を育て、高める仕組みになっています。だから日本語をきちんと学ぶということは感性の高い人間になっていくことなんです。英語が雑な言語というのではないですよ。言語に貴賤はありません。しかし、いかんせん、日本語は複雑です。だから日英のバイリンガルの子と英語モノリンガルの子の学力を評価すると、バイリンガルの子のほうがよくできるわけです。言語が複雑であるほど、多様な表現ができます。そうすると思考が深まります。日本語をしっかりと勉強するということが人間としての感性を磨くことになるし、今の資本主義の社会の中で高い地位に就こうと思うとこの日本語の言語レベルが高ければ高いほどいいわけです。

だから子供の時に読み聞かせをしなくちゃなりません。しかもきれいな言葉の読み聞かせをした方がよい。もちろん、俳句や短歌もいいですよ。俳句や短歌の何がよいかというと、節がつくからです。「食えば鐘がなるなり法隆寺」を正しい読み方をすると、法隆寺を知らない松山の子供でもその情景を何となく、ことばとして覚えます。中学生になって修学旅行で奈良に行ったとき、おっあれか！ということになるわけです。感性を磨くためには日本語のいろんなことばを知るということも大事だし、四季をしっかりと感じられる人間にならなければなりません。今の季節、桜をきれいだと思わない人は日本人はいないですね。日本は豊かな自然に恵まれています。日本人の感性というのは季節感にあります。日本語を学ぶからこそバイリンガルの子供は学力が高くなるのです。

『挨拶』という漢字の意味をみましょう。

『挨』は押す

『拶』は迫る

「押して迫る」。「おはようございます」と「押して迫る」。なんか相手に対して押しつけがましいという人もいますが、そんなことはありません。『挨拶』というのは「押し迫る」。何で「押し迫る」かといいますと、心で「押す」、心で「迫る」。相手に一步近付くということです。実際に前に出て挨拶するとプレッシャーがかかる。心で相手に迫る。これが本来の「挨拶」の意味です。

今の季節、新入社員の研修をすることが多いのですが、今日も実は松山の勝山幼稚園というところで幼稚園職員研修に行ってきたんです。新年度に際して職員の人たちに、特に新職員さんに「挨拶、頑張りなさい」と言います。では、挨拶は何をすることなんですか。「相手を押す、相手に迫る」。挨拶がきちっとできてない状態が何かというと、これ、『忙』です。左側、『忡』。『心』が立っている。心が亡い状態。『忙しい』というのは心が失われていう状態です。だから社会人になったら口が裂けても、忙しいなんて言うてはいけません。「挨拶で押し迫る」ができてないのはこの忙しいという状態です。挨拶で心で押し迫るといっているのはどういう状況でしょうか。その逆が心

をなくしている状態なので、自己チューになっている状態です。自分のことばかり考えている状態が心をなくしている状態です。

反対に、挨拶というのは相手の事に関心を持つということです。押し迫るということは相手に関心を持つということです。頭を下げるということが挨拶ではありません。挨拶をすることによって、今日は相手がお機嫌なのか機嫌が悪いのか察知しないといけないです。また、普段と違う服を着ているなどか、そういう変化に気がつかないといけないし、基本的には相手に対して気遣いをするというのが挨拶です。心で押し迫るとということです。これも字の意味から考えると分かってくるのですね。「挨拶、頑張りましょうね」とか「早寝朝起き朝ご飯、挨拶運動」と言われます。挨拶するからには、校長先生が門に立って何をするか。校長先生は生徒に声をかけながら、今日こいつちょっとおかしいんじゃないか、家庭で何かあったんじゃないか、と。まさにそこで虐待が見つかったりするわけです。挨拶運動というのもそのレベルでやらないといけないのです。取り敢えず、元気な声で挨拶すればよいというレベルの学校が多いですね。挨拶は相手のことに関心を持たないといけないのです。

日本語も漢字の意味を考えると、こういうことが分かってくるのです。が、あまり考えない方が多いですね。

6年前、ドイツでのサッカー・ワールドカップの前にイギリスに行きました。ロード・ハウエルさんという親日家がいるのですが、彼の友人にサッカーのイングランド代表がいます。ベッカムじゃないですが。ロード・ハウエルさんが言います。「日本のチームと対戦するときは全然怖くない」。外交の場で挨拶するのに私達にえらい喧嘩腰やなどと思って聞いていたんです。ハウエルさんの友人選手は、要は日本人はフリーキックに持ち込めばいいんだと言うそうです。フリーキックだと壁を作られます。壁があるとなかなかゴールに直接ボールをいれることが難しい。しかし、日本代表の場合このフリーキックで十分だとイングランドの代表がいう。何故かというと、イングランドのキッカーが頭をぺこっと下げて蹴ったら、日本の選手は礼儀正しいから頭を下げてくれる。壁がなくなったも同然だから。日本人の礼儀正しさがこんなユーモアに仕立て上げられていました。上手に話をするなあと思いました。世界の中で日本人の礼儀正しさは認知されて定着しているわけです。

私がこの『おとなの教養講座』で話したいテーマのひとつは、国際人とはどういう人か、ということです。

うちの長男が受験をしまして私立中学に入学しました。国際コースというところに入ることになりました。1学年480人いるのですが、国際コースは2人です。英語の授業は先生とマンツーマン。語学を教えてくれるのかと思いきや、実は、お茶を習ったり、稲刈りをしたり、富士山に登ったり・・・日本の文化を一杯教えてくれるのです。そのコースは中学3年と高校1年で、1年間海外留学をします。普通日本で1年間留学すると留年します。この学校では留年しなくてよいように、6か年の授業を5か年で履修します。中学1年2年は、留学したときに恥ずかしくないように、日本文化を徹底的に教えてくれる。英語もしゃべれるように、英語はマンツーマンの授業です。向こうに行って英語がしゃべれることが大事なのではないのです。日本文化を知

っているということが国際人なんです。自分の国のことを自分の口で語れるかということが問われるのです。

入学前の春休みに宿題が出ました。何が出たかという、「この道徳の文章を読んで来なさい」と出されたのが、工藤俊作の『海の武士道』を読んで感想文を書くことでした。工藤俊作は軍艦雷（いかづち）の艦長でした。1942年（昭和17年）2月27日から3月1日にかけて行われたスラバヤ沖海戦で、工藤艦長は撃沈されたイギリス軍艦の漂流乗組員422名の救助を命じ実行させました。彼はそのことは一切語りませんが、救助されたサムエル・フォール元海軍中尉が戦後外交官になり工藤艦長の消息を探しあてたことで、艦長の敵味方を超えた行為が、海の武士道として語り継がれるようになりました。ほかにも日本の国を象徴するようなものを読む宿題が出ています。

国際人というのは2つの条件があります。1つは日本文化について知っていること。もう1つは、自分の国の良さを自分の口で語れることです。私の息子はたまたまそういうところに進学することになってよかったなと思っています。

先月、3月2日、3日、私は鹿児島で仕事がありました。松山には秋山兄弟の生誕の地があり、夏目漱石や正岡子規のことも研究できます。日本の良さを語るには、ロシア人墓地があり、勉強になりますが、鹿児島もすごいです。大阪から飛行機でたったの1時間、1泊2日の旅行で鹿児島の良さが十分に分かります。

大阪の勉強会の仲間が子供を連れて集まり鹿児島に行ったのでした。初日に先ず、「維新ふるさと館」に行きました。明治維新で活躍した志士たちを展示している史料館です。ふるさと偉人館で何がメインになっているのでしょうか。鹿児島の薩摩藩のいわゆる志士たちというのは、加治屋町という郷、郷というのは川に囲まれた地域なのですが、郷の中から大勢教育され輩出されているということです。その郷の西側に住んでいた人を西郷さん、東側に住んでいる人を東郷さんと言ったのです。西郷さんも東郷さんも聞いたことがあるでしょう。西郷さんも東郷さんもその加治屋町の中から出てきた偉人なのです。

郷の中で行われた教育だから郷中（ごちゅう）教育といいます。維新ふるさと館ではまず、郷中教育が取り上げられていました。幕末の志士と言えば、維新三傑。西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允です。木戸孝允は長州、あとの2人は薩摩藩で郷中教育を受けられた方です。さらに日露戦争のときに活躍した海軍の人たち、東郷平八郎、山本権兵衛も、薩摩藩の郷中教育の人です。

じゃあ、郷中教育というのはどういうシステムでしょうか。いわゆる先生はいません。年長者から年少者が1つのグループになり、その中の一番年長者が指導します。グループはこういう構成になっています。

二才頭（にせがしら・22, 3歳・大学生に相当）  
青二才（あおにさい・14～22歳、中学高校生に相当）  
稚児頭（ちごがしら・13歳、中1、小6くらいに相当）





長稚児（ちょうちご・10～13歳・小学校高学年）

子稚児（おちご・6～9歳・小学校低学年）

長稚児、子稚児たちは稚児頭に連れられて、朝、青二才か二才頭の家に行きます。その二才頭が先生になって四書五経の素読をしたり習字をしたり算盤をしたりの勉強します。その後、午前中は肉体を使う、皆で相撲をしたり水泳したり、山登りや旗取りなど、体を使う訓練をします。お昼ご飯を食べに帰って、今度は剣術、示現流（じげんりゅう）剣法です。薩摩藩の剣法は剣道と違って実践型です。基本的には木刀を振るのですが、面や胴を入れるで一撃必殺で相手を仕留めるのではありません。示現流剣法は最小限のダメージで相手の戦闘能力を奪います。最小限のエネルギーでできるだけ多くの敵の戦闘能力を奪うという考え方です。相手の小手の部分に剣を当てて落として相手の戦闘能力を奪っていくのです。郷中教育では伝統的にこの剣術を習い、さらに槍や弓を使ったり、もちろん柔術や鉄砲も行います。

郷中教育の最大の利点は何かといいますと、年長者が年少者の面倒を見るということです。西郷隆盛が郷中教育を回想して、長幼の序が生まれることを挙げています。今は後輩が先輩を尊敬しない。社会人になって新入社員が既に働いている先輩社員を尊敬しないと嘆いている経営者が多いですが、原因は何かといいますと、年長者が先輩面して偉そうに指示するからです。先輩というのは先ず、後輩の面倒を見てあげないといけないですね。それによって長幼の序が生まれる。後輩は先輩から面倒見て貰ったからこの先輩のためにいうことを聞かないといけない、あの人はすごい人だ、と長幼の序が生まれます。西郷はもう1つ、集団生活における自らの役割を挙げています。自分が何をすれば集団がよりよい方向に動くか、個人としての働きではなく、集団の中での自分の役割、この組織の中では自分の役割はこうだ、それに気付く能力が付くのです。この2つが西郷が実際に回顧していることです。

郷中教育というのは非常に優れた人材育成の組織だったのです。

みなさんが知っている似たようなものに、ボーイスカウトがありますね。小さい子供たちがキャンプに行ったりして集団生活をするじゃないですか。あのボーイスカウトを考えたのは、ロバート・ベーデン＝パウエルさんというイギリス人です。パウエルさんは何故ボーイスカウトを作ったんでしょう。日本に郷中教育があるのを知って参考にしてボーイスカウトを作ったのです。今、日本ではボーイスカウト、ガールスカウトと言っていますが、元は江戸時代の郷中教育です。

そこに先月行ったのは、大人10人子供8人でした。一番上の子供が14歳、下が4歳。1泊2日とはいえずと一緒に行動していると小さい子はお兄ちゃんお姉ちゃんの言うことをよく聞くようになります。正に郷中教育です。

鹿児島には日本の3つの始まりがあります。

先ず、日本の紀元、建国ですね。それは2679年前の2月11日に神武天皇が国を開いたときです。瓊々杵尊の命が天照大御神から神勅をうけて降臨してきたところが鹿児島島の霧島のところにある高千穂峰です。

2つめは近代国家の幕開け。明治の国造りですね。この近代国家の幕開けを学ぶにはこの「維新ふるさと館」は非常にいいです。

最後の1つは現代日本の幕開け。1945年、先の大戦に負けたときです。現代の平和な世の始まりは知覧にあります。平成の30年間は平和でした。何故平和だったのですか。それは、大東亜戦争末期に命を賭けて、自分の命を犠牲にして国を守ってくれた人たちがいたからです。

《この『3つの始まり』のご講話の詳細は、紙面の都合で誠に残念ながら今回は割愛させていただきます。》

国際人とは、自分の国のいいところを語れる、日本の歴史、伝統を語れる人。では、歴史のどこを抑えればよいかというと、建国の部分、近代国家の幕開け、現代国家の平和の原点の3つです。

こんな感じで我々日本人が何十年も生きて学んできても知らないことが一杯あるのですが、ほんとうに日本という国は知れば知るほどすごくよい国だなあとと思います。できるだけ日本のこと、ことばのこともそうですが、文化のことも、歴史のことも知れば知るほどいいので、今日お話したのは極一部ですが、日本のことを深めていただきたい。

それを子供さんたちに、お孫さん達に伝えていただくといいのではないかと思います。

(文責・青井)



## 「習近平氏国賓来日反対署名」にご協力下さい。

1月23日(木)の虎の門ニュース(有本香氏・竹田恒泰氏)より

【記者

】

習近平主席が来日されるということに関し、自民党の中でもまだ一部で国賓来日に尖閣の問題もあるということで異論もある。渦中のこの件について見解を。

【二階幹事長】

世界の中での大国のひとつである中国の国家主席が来日されるということは、国民を挙げて歓迎ということが大事。

些末なことではいろんな議論をする人はどこの国でもありますし、特に日本にはそういう人がままあるわけですから、それはそれでよく気にしておいたらいいんじゃないですか。

尖閣列島に毎日のように押し寄せる公船、香港やウイグルの人権問題は些末なことな

のか、日本が間違ったメッセージを世界に発信することになる、と両氏は語っておられます。

## **Channel AJER2020.1.23 「習近平が犯した反日政策・7つの大罪」より**

中村功氏(習近平国賓招聘反対 国民運動の会会長・赤尾由美氏(聞き手)

7つの大罪とは・・・

- 1) 総理の靖国参拝に対する内政干渉。安倍首相は中国の恫喝に屈している。
  - 2) 尖閣列島に中国の公船が毎日来ている。我が国は、来ないで下さいというだけで正式にクレームをつけていない。
  - 3) 日本のビジネスマン15人が捕まっている。一人は知人。温泉ボーリングをするために地図を持っていた。実刑判決が下りている。アメリカは、カナダは、こういう場合、国を挙げて取り戻している。
  - 4) 歴代の中国の主席で、習近平ほど反日の主席はいない。国民の祝祭日を3つ作った。1番目は盧溝橋事件の日。2番目は対日戦勝記念日。3つ目が南京事件。祝祭日は共産党政権が崩壊でもしないかぎり簡単には変わらない。日本の国会で論じられない。言論人が論じない。ほとんどのマスコミが取り上げない。今後、中国は休日に朝から晩まで反日報道をする。これで何が日中友好か。
  - 5) ウィグルの収容所100万人。チベットの問題。ダライ・ダマ追放。アメリカもヨーロッパの国々も中国に不信感を強めている。日本がこの段階で習近平を日本に招聘すれば日本は習近平の政策に賛成しているのかということになる。
- ウィグルも香港も大事だが、日本は足下に火が付いている。安倍さんは一強と言われている今、靖国神社に行かねばならない。彼が行かなければ後の人は行けない。精神的にぐにゃぐにゃの日本社会を後世に残してはならない。何としても安倍さんは3月の大祭に、あるいは習近平が帰ってからでもよいから必ず行って、そしてそれが毎年行くという契機になるのであれば・・・。
- 6) デモで捕まった香港人は学生、若者は、どうなったか。ほとんどは中国本国に送られて10年の懲役。その前に恐ろしい拷問が待っている。今の日本人は拷問の辛さ怖さを知らない。それが分かっている活動する香港の若者は芯がある。習近平の脅しで靖国神社に行けない日本人は腰抜けだ。
  - 7) 中国よ、善良な安倍総理を騙したり脅したり、そういう女たらしみたいなことをするな。アメリカもやられていたが、上院下院が一致団結して中国との対決姿勢を明らかにした。我々は同盟国のアメリカとの関係を大事にするのが当然。今のこの激しい世界で、今日は中国にニコニコ、明日はアメリカにニコニコ、中立なんてことは理論上もあり得ない。

2月6日（木）国民総決起（衆議院第一議員会館）  
3月8日（日）一万人デモ行進（日比谷野外音楽堂→国会議事堂）

が予定されております。

## 憲法改正街頭活動のお知らせ

美しい日本の憲法をつくる愛媛県民の会（実行委員長・加戸守行元知事）では、毎月2回、土曜日に13時～14時まで松山市駅前坊ちゃん広場において署名やちらし配布の活動を行っております。

2月は1月31日（金）～2月2日（日）の椿祭りでの啓発活動がこれに代わります。

3月は14日と21日の土曜日でございます。14日は日本会議今治支部、21日は伊予支部からの応援部隊が駆けつけて下さいます。

みなさまのご協力をお願い申し上げます。

## ☆☆☆ 事務局から ☆☆☆

★2月11日（祝・月）に7会場で開催されます「建国記念の日奉祝大会」のちらしと2月23日の「天皇陛下のお誕生日をお祝いする集い」のちらしを同封致しました。ふるってご参加下さいませ。

★「習近平氏国賓来日反対署名」にご協力下さい。2月中旬を目途に、同封の封筒で伊予市議会議員・森川建司氏までお送り下さいませ。用紙が足りない場合は、ネット（頑張れ日本！行動委員会のHP）からお取り出し下さい。あるいは、めざす会事務局までご一報下さいませ。

★中村功会長の習近平主席7つの大罪のご発言を文字起こししながら、これらの大罪は同時に日本の大罪でもあると情けなくなりました。

★設立以来、総会が唯一の行事であった日本会議東温支部が、天皇陛下ご即位記念の展示を行うことになりました。感謝感謝です。3週間（実質15日間）の目標動員数は300名です。また、拉致被害者救出の署名・募金のコーナーも設置することになりました。普段こうしたことに接点のない方にご協力いただける場になると思います。

★会報をほぼ1年間、発行することができませんでした。従いまして、次回の会費のお願いは1年後にさせていただきます。なお、封筒のアドレスシールの住所の下欄の数字は今まで会費を納入していただいた〈年と月〉を表しています。長期会員の方はスペースの関係で〈年〉のみ記載の場合もございます。

健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 青井美智子

〒791-0221 東温市上村甲218番地

電話 090-8971-7721 Fax 089-964-3903

<http://www.mezasukai.com/>

メール [michikoaoi25@yahoo.co.jp](mailto:michikoaoi25@yahoo.co.jp)